

5 今後に向けて

5.1 保護者・教育関係者への意識啓発の重要性

必ずしも全ての保護者・教育関係者がケータイモラル教育の重要性を認識し、家庭内での十分な子どもとの話し合いやルール作りを行っているという状況ではないことから、引き続き意識啓発の推進が求められる。特に、子どもに携帯電話やスマホを持たせる前の早期における意識付けは有効である。保護者・教育関係者への意識啓発方法として、ケータイモラルキャラバン隊は非常に有効であったことから、今後も引き続き進めていくことが期待される。

わけても、これまでケータイモラル教育の啓発活動にそれほど取り組んでいない地域では、保護者や教育関係者の意識が他地域に比べると高くないことも懸念される。スマホ普及により一層の意識啓発の必要性が高まる中、早急に取り組む必要があり、ケータイモラルキャラバン隊が意識啓発活動の起爆剤となることが期待される。

5.2 地域における旗振り役の育成と幅広い啓発活動の推進

今回はPTA組織との連携により、研修会として各地区PTA代表者へ直接情報発信を行った。これにより、自らの家庭内で話し合うことの重要性を知らせることができたのはもちろんのこと、「地域に戻ってから周りの保護者への啓蒙(けいもう)活動をしたい」という声も多かった。

幅広い保護者・教育関係者に対するケータイモラル教育の実現に向けては、PTA役員や教育委員会など、地域で核となって取り組む旗振り役の育成がポイントとなる。ケータイモラルキャラバン隊は、地域における旗振り役を期待される人材に対し、動機付けを図る場としての機能も求められる。

ただ、一方で参加者からは、保護者や教員が最新のサービス動向や最新のトラブルの実態などを教えるのは難しいといった声も上がっている。ケータイモラルキャラバン隊での講演を聞いた保護者・教育関係者を核として、更に地域全体へ裾野を広げていくためには、きめ細かく、地域での活動をバックアップする体制を整えることがポイントである。その点では、文部科学省・総務省が実施するe-ネットキャラバンを、ケータイモラルキャラバン隊と並行して進めていくことが非常に有効である。また、各地で民間事業者による出前講座なども開催されており、こういった取組と連携しながら、啓発活動を進めることが考えられる。

ケータイモラルキャラバン隊やe-ネットキャラバンにより保護者の意識が高まった後に、それを維持し続けるフォローアップの仕掛けを作ることも重要である。例えば、地域で核となって活動する行政・保護者・教育関係者・民間事業者等が、最新のトレンドやトラブル情報を共有し、協力して対策を考える場を作ることも考えられる。そこで集められた情報を、研修等で保護者に向けて

広く定期的に発信するなども考えられる。

加えて、余り PTA 活動や地域活動等に積極的ではない保護者への啓発も重要な視点である。例えば、メディアとのタイアップ、ケータイモラルキャラバン隊のコンテンツの Web 掲載など、新たなアプローチ方法を試みることが考えられるだろう。

5.3 ニーズに応える情報提供

ケータイモラル教育を行うに当たって保護者や教育関係者の学習意欲は高く、最新の技術動向、子どもに人気のサービスの情報、トラブルの実態や対処方法などの情報を発信することが求められている。子どものスマホ利用が高まる一方で、日々進歩するスマホ向けサービスや、最新のフィルタリング方法などをキャッチアップできておらず、現状に即した適切な対応が取れていない保護者・教育関係者もいることから、継続的に最新の情報を提供していかなければならない。

ただし、子どもの成長段階や、保護者自身の ICT リテラシーの高さによって、求められる情報の種類やレベルは異なっており、そういった点に配慮しなければならない。例えば、ケータイモラル教育が始まる時期である小学生のうちには、保護者にどのような責務があるか、どのようなことを子どもと話し合うべきか、どういったルールを作るべきかといった情報提供が重要であり、保護者からのニーズも高い。一方で、子どもの方が新しい技術やサービスに詳しくなってしまう高校生の保護者は、自らも勉強しなければならないという意識が強く、最新技術や子どもが利用するサービスの内容や実態を知りたいといったニーズが高い。

5.4 より効果的なケータイモラルキャラバン隊の開催に向けて

より多くの保護者・教育関係者の参加を得るためには、参加しやすい時期・時間帯にシンポジウムを開催することが求められる。参加者からは、PTA の連絡周知を担当する学校事務局の繁忙期を考慮した開催時期の設定や、小学生の帰宅時間を考慮した開催時間の設定といった要望が寄せられている。また、連絡周知は早期に始めるべきである。

シンポジウムの内容としては、ケータイモラル教育の重要性や保護者の責務、家庭で子どもと話し合っただけでルール作りすることの重要性に加え、家庭で作るルールの内容についての講演が参加者からの評価が高かった。保護者への「意識付け」だけにとどまらず、「家庭や地域に戻って、具体的に何をすればよいのか」といった今後の道標になる情報を提供することが、具体的な行動を促すポイントと言える。

なお、子どもの学齢によって、人気のサービスや懸念されるトラブル、家庭でのルールなども異なっており、それに応じた内容が期待されるとの声も寄せられている。また、参加者の ICT リテラシーや開催地域によって、参加者の求める情報も異なっている。学年別や対象者の理解度別

といった開催も一考の価値があるだろう。

合わせて、参加者の年代や性別、地域で子どもたちが携帯電話やスマホをどのような使い方をしているか、子どもや保護者に対してどのような啓発活動に取り組んできたかといった情報を事前に確認しておくことが望ましい。その上で、パネルディスカッションでの地元の教育委員会やPTA等の参加、トークセッションでの会場の意見を募る方法など、地域の実情を要素として取り入れることで、より高い開催効果を期待できる。

本年度は、民間事業者も登壇者又は聴衆として参加したが、会場の保護者等へ最新のトレンドを届けられるといった点はもちろんのこと、保護者や教育関係者の現状やニーズを事業者側にダイレクトに伝えられたといった点でもメリットがあった。民間事業者には、ケータイモラルキャラバン隊実施後の地域での活動サポーターとしての役割も期待されていることから、今後も連携を図ることが有効だろう。

参考資料

- 1 ケータイモラルキャラバン隊 シンポジウムチラシ
- 2 アンケート調査票
- 3 アンケート自由記述(全回答)

参考資料 1 ケータイモラルキャラバン隊 シンポジウムチラシ

第 1 回 鹿児島県 (鹿児島会場)

第 2 回 仙台市 (仙台会場)

第 3 回 石川県 (金沢会場)

第 4 回 札幌市 (札幌会場)

第 5 回 兵庫県 (姫路会場)

第 6 回 北九州市 (北九州会場)

文部科学省委託事業「ケータイモラルキャラバン隊」
鹿児島県PTA連合会 研修会



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

2013年1月20日(日)

南日本新聞会館 みなみホール(定員300名)

<13時より受付開始>

13時30分～13時35分 <挨拶>

外城戸 昭一(鹿児島県PTA連合会 会長)

13時35分～13時55分 <文部科学省 説明>

ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み

川又 竹男(文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課長)

13時55分～14時 <総務省 説明>

スマートフォン等の安心・安全な利用環境の整備に向けた取り組み

武永 次男(総務省 九州総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 課長)

14時～14時45分 <講演>

**情報社会を健やかに生きる子どもを育むために
～見守る側としてできること、知っておきたいこと～**

尾花 紀子(ネット教育アナリスト)

14時50分～16時10分 <パネルディスカッション>

子どもたちが情報社会に向き合うために、大人がやるべきこと

パネリスト: 尾花 紀子(ネット教育アナリスト)

川又 竹男(文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課長)

中西 昭郎(鹿児島市立甲南中学校 校長)

新原 市郎(鹿児島県PTA連合会 副会長)

コーディネーター: 曾我 邦彦((社)日本PTA全国協議会 元会長)

講演者紹介



尾花 紀子(おばな のりこ) ネット教育アナリスト

1984年 日本IBM入社。各種コンサルティングや人材育成、プロバイダー事業、キッズ教育ソフト監修他に携わり、2005年フリーのコンサルタントに。同時に、ITのプロと母親との両目線で現状を分析する「ネット教育アナリスト」としての活動も開始。講演・執筆活動の他、監査機関の理事や行政機関の委員として青少年のネット環境作りにも幅広く寄与。専門家としてテレビ・ラジオ出演や、NHK教育テレビ・データ放送『インターネット・ケータイ「あんしんナビ」』の監修・指導も行っている。 <公式サイト <http://www.frey.jp/>>

研修会共催



URL <http://good-net.jp>

安心ネットづくり促進協議会(会長:一橋大学名誉教授 堀部政男)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する非営利団体です。(会員数:186 2012年10月1日現在)

主催:(株)情報通信総合研究所

文部科学省 鹿児島県PTA連合会(TEL 099-206-1072)

共催:安心ネットづくり促進協議会

後援:鹿児島県教育委員会、鹿児島県連合校長協会

<会場>南日本新聞会館 みなみホール



鹿児島市与次郎1-9-33 TEL:099-813-5001

文部科学省委託事業「ケータイモラルキャラバン隊」
仙台市PTA協議会 研修会



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

2013年1月28日(月)

仙台イズミティ21 小ホール(定員400名)

<13時より受付開始>

13時30分～13時35分 <挨拶>

内田 幸雄(仙台市PTA協議会 会長)

13時35分～13時55分 <文部科学省 説明>

ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み

関根 章文

(文部科学省 スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付 青少年有害環境対策専門官)

13時55分～14時 <総務省 説明>

スマートフォン等の安心・安全な利用環境の整備に向けた取り組み

増田 和宏(総務省 東北総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長)

14時～14時45分 <講演>

スマホってどんなもの?子どもが使って大丈夫?

藤川 大祐(千葉大学教育学部教授)

14時50分～16時10分 <パネルディスカッション>

子どもたちが情報社会に向き合うために、大人がやるべきこと

パネリスト: 藤川 大祐(千葉大学教育学部教授)

関根 章文(文部科学省 スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付

青少年有害環境対策専門官)

菊地 淳(仙台市教育委員会 相談課 指導主事)

吉田 信子(仙台市PTA協議会 副会長)

コーディネーター: 曾我 邦彦((社)日本PTA全国協議会 元会長)

講演者紹介



藤川 大祐(ふじかわ だいすけ) 千葉大学教育学部教授

1965年、東京生まれ。教育方法学・授業実践開発を専門とし、メディアリテラシー、数学、企業との連携授業等を研究。文部科学省「ネット安全安心全国推進会議」委員、安心ネットづくり促進協議会普及啓発副委員長及び、スマートフォン利用作業部会主査、NPO法人企業教育研究会理事長、NPO法人全国教室ディベート連盟常任理事等をつとめる。

研修会共催



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

URL <http://good-net.jp>

安心ネットづくり促進協議会(会長:一橋大学名誉教授 堀部政男)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する非営利団体です。(会員数:186 2012年10月1日現在)

主催:(株)情報通信総合研究所

文部科学省 仙台市PTA協議会(TEL 022-227-9545)

共催:安心ネットづくり促進協議会

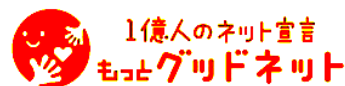
後援:仙台市教育委員会

<会場>仙台イズミティ21 小ホール



仙台市泉区中央2-18-1 TEL022-375-3101

文部科学省委託事業「ケータイモラルキャラバン隊」
石川県PTA連合会 研修会



2013年2月2日(土)

地場産業振興センター コンベンションホール(定員310名)

<13時より受付開始>

13時30分～13時35分 <挨拶>

石野 一樹(石川県PTA連合会 会長)

13時35分～13時55分 <文部科学省 説明>

ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み

川又 竹男(文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課長)

13時55分～14時 <総務省 説明>

スマートフォン等の安心・安全な利用環境の整備に向けた取り組み

綿谷 信義(総務省 北陸総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長)

14時～14時45分 <講演>

情報社会を健やかに生きる子どもを育むために

～見守る側としてできること、知っておきたいこと～

尾花 紀子(ネット教育アナリスト)

14時50分～16時10分 <パネルディスカッション>

子どもたちが情報社会に向き合うために、大人がやるべきこと

パネリスト: 尾花 紀子(ネット教育アナリスト)

米田 謙三(私立羽衣学園高等学校 教諭)

川又 竹男(文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課長)

石倉 喜八朗(石川県教育委員会 学校指導課 課長補佐)

松寺 麗子(石川県PTA連合会 副会長)

コーディネーター: 曾我 邦彦((社)日本PTA全国協議会 元会長)

講演者紹介



尾花 紀子(おばな のりこ) ネット教育アナリスト

1984年 日本IBM入社。各種コンサルティングや人材育成、プロバイダー事業、キッズ教育ソフト監修他に携わり、2005年フリーのコンサルタントに。同時に、ITのプロと母親との両目線で現状を分析する「ネット教育アナリスト」としての活動も開始。講演・執筆活動の他、監査機関の理事や行政機関の委員として青少年のネット環境作りにも幅広く寄与。専門家としてテレビ・ラジオ出演や、NHK教育テレビ・データ放送「インターネット・ケータイ「あんしんナビ」」の監修・指導も行っている。 <公式サイト <http://www.frey.jp/>>

<会場> 石川県地場産業センター

研修会共催



URL <http://good-net.jp>

安心ネットづくり促進協議会(会長:一橋大学名誉教授 堀部政男)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する非営利団体です。(会員数:186 2012年10月1日現在)

主催:(株)情報通信総合研究所

文部科学省 石川県PTA連合会(TEL 076-261-3887)

共催:安心ネットづくり促進協議会

後援:石川県教育委員会、総務省北陸総合通信局

いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会(iネット推進)



石川県金沢市鞍月2-1 TEL076-268-2010

文部科学省委託事業「ケータイモラルキャラバン隊」
札幌市PTA協議会 研修会



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

2013年2月6日(水)

札幌生涯学習センター ちえりあ 1Fホール (定員320名)

< 12時30分より受付開始 >

13時～13時05分 <挨拶>

山本 清和(札幌市PTA協議会 会長)

13時05分～13時25分 <文部科学省 説明>

ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み

関根 章文

(文部科学省 スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付 青少年有害環境対策専門官)

13時25分～13時30分 <総務省 説明>

スマートフォン等の安心・安全な利用環境の整備に向けた取り組み

諏訪 公男(総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長)

13時30分～14時15分 <講演>

ケータイやスマホを賢く安全に使える子に育てるには?

～ 見守る側としてできること&知っておきたいこと ～

尾花 紀子(ネット教育アナリスト)

14時20分～15時40分 <会場トークセッション>

子どもたちが情報社会に向き合うために、大人がやるべきこと

パネリスト: 尾花 紀子(ネット教育アナリスト)

小向 太郎(早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 客員准教授)

関根 章文(文部科学省 スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付

青少年有害環境対策専門官)

岡田 直也(札幌市教育委員会 指導室係長)

コーディネーター: 曾我 邦彦((社)日本PTA全国協議会 元会長)

講演者紹介



尾花 紀子(おばな のりこ) ネット教育アナリスト

1984年 日本IBM入社。各種コンサルティングや人材育成、プロバイダー事業、キッズ教育ソフト監修他に携わり、2005年フリーのコンサルタントに。同時に、ITのプロと母親との両目線で現状を分析する「ネット教育アナリスト」としての活動も開始、講演・執筆活動の他、監査機関の理事や行政機関の委員として青少年のネット環境作りにも幅広く寄与。専門家としてテレビ・ラジオ出演や、NHK教育テレビ・データ放送「インターネット・ケータイ「あんしんナビ」」の監修・指導も行っている。 <公式サイト <http://www.frey.jp/>>

研修会共催



URL <http://good-net.jp>

安心ネットづくり促進協議会(会長:一橋大学名誉教授 堀部政男)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する非営利団体です。(会員数:186 2012年10月1日現在)

主催:(株)情報通信総合研究所

文部科学省 札幌市PTA協議会(TEL 011-671-2371)

共催:安心ネットづくり促進協議会

後援:札幌市教育委員会

<会場>札幌生涯学習センター ちえりあ



札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 TEL:011-671-2200

文部科学省委託事業「ケータイモラルキャラバン隊」
兵庫県PTA協議会 研修会



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

2013年2月23日(土)

姫路市文化センター 小ホール(定員300名)

<13時より受付開始>

13時30分～13時35分 <挨拶>

尾上 浩一(兵庫県PTA協議会 会長)

13時35分～13時55分 <文部科学省 説明>

ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み

関根 章文

(文部科学省 スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付 青少年有害環境対策専門官)

13時55分～14時 <総務省 説明>

スマートフォン等の安心・安全な利用環境の整備に向けた取り組み

新堂 忠彦(総務省 近畿総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 課長)

14時～14時45分 <講演>

子どもたちの情報モラル意識を育む

米田 謙三(私立羽衣学園高等学校 教諭)

14時50分～16時10分 <会場トークセッション>

子どもたちが情報社会に向き合うために、大人がやるべきこと

パネリスト: 米田 謙三(私立羽衣学園高等学校 教諭)

関根 章文(文部科学省 スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付
青少年有害環境対策専門官)

西田健次郎(姫路市教育委員会 学校指導課長)

増尾 賢一(姫路市連合PTA協議会 会長)

井上真由美(安心協 普及啓発副主査,(株)ミクティ ユーザ・サービス本部 CS推進部 渉外担当)

コーディネーター: 曾我 邦彦((社)日本PTA全国協議会 元会長)

講演者紹介



米田 謙三(よねだ けんぞう) 私立羽衣学園高等学校 教諭

大阪府私立羽衣学園中・高等学校 情報科・英語科教諭。大阪府私学教育情報化研究会副会長、全国高等学校情報科研究会委員、モバイルコンテンツ審査運用監視機構啓・教育プログラム推進委員。アジア諸国をはじめカナダ、イギリス、オーストラリア、アメリカなど世界各地を駆け回りICTを活用した教育や国際理解教育を実践中。2012年もAPEC(韓国慶州)やASEAN(日本)での教育イベントに日本代表で参加。高校生熟議や産学連携、消費者教育など実践。

研修会共催



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

URL <http://good-net.jp>

安心ネットづくり促進協議会(会長:一橋大学名誉教授 堀部政男)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する非営利団体です。(会員数:186 2012年10月1日現在)

主催:(株)情報通信総合研究所

文部科学省 兵庫県PTA協議会(TEL 078-361-8181)

共催:安心ネットづくり促進協議会

後援:兵庫県教育委員会 姫路市教育委員会

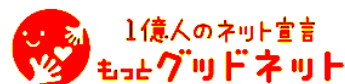
姫路市連合PTA協議会

<会場> 姫路市文化センター



兵庫県姫路市西延末426-1 TEL079-293-7300

文部科学省委託事業「ケータイモラルキャラバン隊」
北九州市PTA協議会 研修会



2013年3月2日(土)

黒崎ひびしんホール 中ホール(定員300名)

<9時30分より受付開始>

10時～10時05分 <挨拶>

伊藤 一義(北九州市PTA協議会 会長)

10時05分～10時25分 <文部科学省 説明>

ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み

川又 竹男(文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課長)

10時25分～10時30分 <総務省 説明>

スマートフォン等の安心・安全な利用環境の整備に向けた取り組み

武永 次男(総務省 九州総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 課長)

10時30分～11時15分 <講演>

スマホ時代を生きていく子どもたちのために

桑崎 剛(安心ネットづくり促進協議会 特別会員、熊本市立錦ヶ丘中学校 教頭)

11時20分～12時30分 <会場トークセッション>

子どもたちが情報社会に向き合うために、どう取り組むか

パネリスト: 桑崎 剛(安心ネットづくり促進協議会 特別会員)

川又 竹男(文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課長)

山田 英嗣(ソフトバンクモバイル(株)渉外部 課長、TCA青少年有害対策部会)

西 雅彦((株)ディー・エヌ・エー カスタマーサービス部 部長)

コーディネーター: 曾我 邦彦((社)日本PTA全国協議会 元会長)

講演者紹介



桑崎 剛(くわさき つよし) 熊本市立錦ヶ丘中学校 教頭

東京都私立高等学校講師以降、熊本県立中学校(合志中学校他)教諭、熊本市教育委員会教育センター指導主事、熊本県立中学校教頭(東部中学校他)を経て現職

現在は日本教育工学協会(JAET)理事、熊本県小・中学校情報教育研究会副会長、文部科学省 教育の情報化総合モデル支援事業 企画評価委員他に従事

その他、「ガイアの夜明け」他TV出演や新聞等「子どものケータイ問題」の記事掲載多数

研修会共催



URL <http://good-net.jp>

安心ネットづくり促進協議会(会長:一橋大学名誉教授 堀部政男)は、利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸となってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する非営利団体です。(会員数:187 2013年2月1日現在)

主催:(株)情報通信総合研究所

文部科学省 北九州市PTA協議会(TEL 093-581-7268)

共催:安心ネットづくり促進協議会、北九州市教育委員会

<会場> 黒崎ひびしんホール 中ホール



北九州市八幡西区岸の浦2-1-1 TEL:093-621-4566

参考資料 2 アンケート調査票

「ケータイモラルキャラバン隊」シンポジウム 参加者アンケート

本日は、ご多忙の中シンポジウムへご参加いただきましてありがとうございます。今後の取り組みの参考にさせていただくため、アンケートへご協力いただきますようお願いいたします。

I. あなたご自身のことについてお伺いします。

Q1. あなたの性別・年齢・職業、お子様についてお答えください。(それぞれ当てはまるもの1つに○)

①性別	1.男性	2.女性			
②年齢	1.19歳以下 6.60歳以上	2.20～29歳	3.30～39歳	4.40～49歳	5.50～59歳
③職業	1.会社員・団体職員 5.パート・アルバイト 9.その他 ()	2.公務員	3.教員	4.自営業・自由業	7.学生 8.無職
④お子様の学齢等について	1.未就学児 ()人 2.小学生 ()人 3.中学生 ()人 4.高校生 ()人 ※()に人数を記入後、Q2～5の回答対象とするお子様の番号に○を1つつけてください 5.高校生以下の子どもはいない ⇒Q6へお進みください。				

(高校生以下のお子様がいいらっしゃる方のみご回答ください)

II. お子様を利用している情報機器について伺います。

Q2. お子様は以下の情報機器を利用していますか？ 過去に利用していたもの、および、家族と共用で利用しているものも含めてお答えください。(当てはまるもの全てに○)

1.携帯電話(スマートフォン除く)	2.スマートフォン
3.子ども向けの機能限定携帯電話 (NTTドコモ「キッズケータイ」、au「mamorino」、ソフトバンクモバイル「みまもりケータイ」等)	
4.タブレット端末(iPad等)	5.携帯型音楽プレーヤー(インターネット接続可能なもの)
6.テレビ(インターネット接続可能なもの)	7.ポータブルゲーム機(インターネット接続可能なもの)
8.パソコン	9.いずれも利用していない

(ここからは、Q2にて「1.携帯電話」「2.スマートフォン」を利用していると回答した方のみにお伺いします。)

Q3. あなたのご家庭では、携帯電話・スマートフォンの利用に関するルールや適切な利用方法について、お子様と話し合いをしていますか？(当てはまるもの1つに○)

1.頻繁に話し合っている	2.ときどき話し合っている
3.ほとんど話し合っていない	4.一度も話し合ったことはない

Q4. あなたのご家庭では、お子様の携帯電話・スマートフォン利用に関し、どのようなルールがありますか？(当てはまるもの全てに○)

1.利用機能の制限(通話・メールのみなど)	2.利用サイトの制限(フィルタリングなど)
3.利用時間の制限(利用は1日1時間までなど)	4.利用時間帯の制限(利用は夜9時までなど)
5.利用料金の上限	6.利用する場所、機器を置く場所の取り決め
7.通話料金やネットの利用履歴を保護者が確認	8.ルール違反に対する罰則を定めている
9.その他のルールを定めている ()	
10.ルールは定めていない	

Q5. あなたは、携帯電話・スマートフォンの適切な利用方法をお子様と話し合う上で、どのような不安をお持ちですか？(当てはまるもの全てに○)

1.法律で定められた保護者の義務や責務を知らない
2.最新の技術や動向が分からない・追いつけない
3.子どもに人気のあるインターネット上のサービスの内容と危険性を知らない
4.子どもの発達段階に応じて、どのような利用ルールを定めればよいか分からない
5.利用ルールに合わせた、携帯電話やスマートフォンの機能設定方法が分からない
6.利用ルールを定めても、子どもが実際には守っていない・守っているかどうか確認できない
7.自分の子どもの携帯電話やスマートフォンの利用状況を把握できていない
8.その他の不安がある ()
9.特に不安はない

裏面に続きます

(再び、全ての方に伺います)

Ⅲ. 本日のシンポジウムについて伺います。

Q6. 【理解度】 本日の講演内容は、理解できましたか。(当てはまるもの1つに○)

1. とてもわかりやすかった 2. わかりやすかった 3. ややわかりにくかった 4. わかりにくかった

Q7. 【有用性】 本日の講演内容は、ご自身の子育てや教育・指導、地域での普及啓発活動などに参考になる・役に立つと思われましたか。(当てはまるもの1つに○)

1. とても参考になった 2. 参考になった 3. あまり参考にならなかった 4. 参考にならなかった

(Q7にて「1.とても参考になった」「2.参考になった」と回答した方に伺います。)

Q8. どのような点で参考になった・役に立ったと思われましたか。(当てはまるもの全てに○)

1. ケータイモラル教育の重要性について
2. ケータイモラル教育における保護者の義務や責務について
3. ケータイモラル教育に関する国、教育委員会、学校の取り組みについて
4. 最新の技術動向や子どもの情報機器利用の実態について
5. 子どもが巻き込まれたインターネット上のトラブルの実態、最近の動向について
6. 家庭での話し合いやルールづくりの内容、その重要性について
7. フィルタリングなどの技術的な対策方法について
8. 従来型の携帯電話とスマートフォンによる利用用途や危険性の違いについて
9. その他 ()

(再び、全員の方に伺います。)

Q9. 本日の講演を通し、あなた自身が、ご家庭でのケータイモラル教育や地域での啓発活動に取り組もうと思われましたか。(当てはまるもの1つに○)

1. とても思った 2. 思った 3. あまり思わなかった 4. 思わなかった

(Q9にて「1.とても思った」「2.思った」と回答した方に伺います。)

Q10. 具体的にどのようなことに取り組もうと思われましたか。(当てはまるもの全てに○)

1. ケータイモラルやインターネット利用の危険性に関するあなた自身の勉強
2. ケータイモラルやインターネット利用の危険性に関する地域・他の保護者への意識啓発
3. ケータイモラルやインターネット利用の危険性に関する子どもへの意識啓発
4. 家庭での子どもとの話し合いやルールづくり
5. あなた自身の子どもが持つ携帯電話やスマートフォンへのフィルタリングなどの技術的な対策
6. その他 ()

(再び、全員の方に伺います。)

Q11. 今後、ご家庭や地域でのケータイモラル教育を行うために、どのような情報提供が充実されることを期待しますか。(当てはまるもの全てに○)

1. ケータイモラル教育における保護者の義務や責務
2. ケータイモラル教育に関する国、教育委員会、学校の取り組み
3. 最新の技術動向や子どもの情報機器利用の実態
4. 子どもに人気のあるインターネット上のサービスの内容
5. 子どもが巻き込まれたインターネット上のトラブルの実態
6. フィルタリングなどの技術的な対策方法
7. 子どもがトラブルに巻き込まれた時の対処方法
8. ケータイモラル教育に関連する講習会の開催情報
9. その他 ()
10. 特にない

Q12. その他、ご意見やご感想などを自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました

参考資料3 アンケート自由記述(全回答)

※誤字・脱字については修正しています。また個別事業者等の商品・サービス名が記載されていたものについては、表現の一部を変更しています。

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
鹿児島県	シンポジウムの有用性、行動意欲			
	とても勉強になりました。ありがとうございました。	男性	50歳代	小学生
	大人が頭を使ってルールを決める。家庭でもそうあるべきだし、学校でもそうなってほしいと思います。単に使用・持込禁止でなく。まず家庭でもルールを決めて使わせ方を考えていきたいと思います。そして会話したいと強く思いました。	女性	40歳代	高校生
	子どもに携帯電話、スマホを持たせることに悩んでいた時期だったので、タイミングよく参加させていただきました。与えるだけでなく、ルール作り、マナーを学ぶ等親もきちんと自覚した上でもう少し時期を見つつ、使わせたいと思いました。	女性	40歳代	中学生
	高校生で既にスマホを持たせています。今日の講演を持たせる前には是非聞いて参考にしたかったです。	女性	50歳代	高校生
	尾花先生の講演は大変勉強になりました。携帯を使う上で家庭の中でのルールをしっかりと作り、親子で話し合っていきたいと思いました。また、学校・地域と連携を取ることも大切だと感じました。	女性	50歳代	高校生
	とてもためになった。特にパネルディスカッション最高に良かった。	女性	50歳代	高校生
	便利な社会になる中で、便利さの裏に危険性があること。その現実を学びました。今後「わからない」の一言で済ませず、自分なりに勉強していこうと思いました。	女性	40歳代	小学生
	子どもの高校入学と同時に初めてスマホを買い与えました。それに伴い親もスマホを購入しましたが、私自身がつかいきれずに苦労しています。大変勉強になりました。ありがとうございました。	女性	40歳代	高校生
	貴重な研修の機会を提供していただき、ありがとうございました。	男性	50歳代	高校生
	大変良く理解できました。	男性	50歳代	高校生
	新しい発見が何度もあり、多くのことを学ぶ良い機会となりました。是非今回のような活動を多くの学校で行っていただければありがたいと思います。私自身も小さいところから始めていきたいです。	男性	20歳代	未就学児
	お疲れさまでした。ありがとうございました。	女性	50歳代	高校生
	研修開催、資料活用の要望			
	学校単位でも聞かせていただきたい内容でした。	女性	40歳代	中学生
	とても意識が高まる研修でした。是非学んだことを学校や保護者にも伝えていきたいです。資料が活用できたらいいと思いました。	女性	50歳代	-
	国、教育委員会、学校、企業への意見・要望			
	青少年インターネット環境整備法はあくまでも努力義務規定であって、子ども達への有害情報やSNSを通じた犯罪被害、ネットいじめなどに効果が得られていない。表向きの法など必要ない。実効性のある法改正を願う。親子のジェネレーションギャップは更に拡大中。フィルタリングの徹底を図る必要がある。	男性	40歳代	高校生

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢	
鹿児島県	尾花先生の御講演とても参考になりました。もっと時間をとってじっくりと聞きたかったです。携帯端末進化のスピードに親や教員がついていくのが大変な世の中になった気がします。情報機器(サービス)を販売(提供)する企業には、情報犯罪のない社会づくりに積極的に関わってほしいと感じました。	男性	50歳代	-	
	シンポジウムの内容・運営への意見・要望				
	短い時間で盛りだくさんな内容を話したいということもあって、講演が早口で声が高く聞きづらいと感じた。聞いていて落ち着かない。パネルディスカッションは。	男性	60歳以上	小学生	
	もう少し参加を呼びかけてほしかったと思いました。	女性	50歳代	-	
	尾花先生の話の時間ももっとあればよかったです。	女性	40歳代	中学生	
	もう少し時間があっても良かったです。本日はありがとうございました。	女性	50歳代	高校生	
	もう少し時間がほしかった！	女性	40歳代	高校生	
	携帯電話・スマホの使用に対する考え方				
	共働きを理由に、小学校2年生のときに携帯電話を持たせましたが、1年後に解約しました。持たせなくても、不自由はありません。今後中高校生になって携帯について話し合うことになるかと思いますが、持たせる予定はありません。持たせない理由を伝える必要はあると思っています。	女性	40歳代	小学生	
	仙台市	シンポジウムの有用性、行動意欲			
ルールを決めてケータイを持たせていますが、まだ甘いなど感じる場合があります。高校の姉はSNSをやっている、それも危ないと話を聞いてドキッとしました。親もしっかり勉強していかないと駄目ですね。		女性	40歳代	高校生	
携帯電話は親が買い与えるものである以上、学校に教育をお願いするのは筋違いで、家庭で指導するべきだ。大人の勉強が必要と思う。子どもたちはこの話題にこだわらず、モラル(常識)の教育は必要だと思います。(道徳の強化)		男性	40歳代	-	
親にも子にも情報社会に潜んだ危険性が具体的に理解できてないので、知る機会を設けてほしい。		女性	40歳代	中学生	
ネットということで特別なことが必要と思ったが、日頃からの親子のコミュニケーションが一番大切ということでした。本来の家庭の在り方が一番大切ということがわかった。		女性	50歳代	高校生	
先日娘がスマホに買い換えました。今日はすごくいい話を聴くことが出来ました。使用の仕方についても一度娘と話し合ってみようと思います。		女性	30歳代	中学生	
コーディネーターがしゃべりすぎです。藤川先生のはなしや指摘が良かった。関根先生のコミュニケーションをとりながら子どものモラル教育に近づく手法を聞き、参考になりました。菊池先生にはこれからも頑張ってくださいと思います。		女性	40歳代	中学生	
参考になりました。ありがとうございました。		女性	40歳代	高校生	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
仙台市	パネルディスカッションは非常に分かり易(やす)かったです。子どもたちともきちんとスマホの使い方について話し合いたいですし、知り合いにも学校にも伝えていきたいと思います。一部の講演会は会場が暗くなったこともあり、手元の資料も見えにくく眠くもなっていました。二部を聞かずに帰ってしまった方は残念に思いました。	女性	40 歳代	高校生
	ケータイやインターネットを使っちゃいけないか？安全に使わせるか？という言葉が頭から離れません。家に帰って家族で話し合ってみたいと思います。よい勉強になりました。ありがとうございました。	女性	40 歳代	高校生
	子どもの方がスマホなどくわしいのでコミュニケーションをとりながら、子どもと一緒に学んでいきたいと思いました。	女性	30 歳代	高校生
	親と子、親と先生とともに学ぶ大切を良くわかりました。日頃のモラルのあり方について、まず大人が学んでいけたらと思います。私も子どもにスマホを与えてしまったばかりですごく勉強になりました。チェックしているつもりでしたが、最近ではロックされ頭を悩ませております。	女性	40 歳代	中学生
	ネット社会について話を詳しく聞いてみたい。SNS は子どもも利用しているので、子どもと話して写真や個人情報をのせないようにしています。	-	40 歳代	中学生
	藤川先生の話はタイムリー、具体的で大変参考になりました。パネルディスカッションでの皆さまの話も、中高生を持つ保護者にとっては勉強になることが多かったです。	女性	40 歳代	中学生
	スマホについてのトラブルやサイト、アプリケーションなどの利用の仕方など分かりやすかったと思います。もっと多くの保護者、児童、生徒に知ってもらう必要があると思いました。親である私たちもついていけないくらい通信機器進歩。もっと勉強をして、理解しなくてはならないと思いました。	女性	40 歳代	中学生
	パネルディスカッションの前は、子ども(小中学生)にはケータイ、スマホは危険なので与えないかなと思いましたが、パネルディスカッションの後には有益な面も知り、上手に使えるように学んでから使えるように与えたいと思いました。曾我さんの進行がとてもよかった。	女性	40 歳代	小学生
	インターネット端末の多様化に伴い、手元に何かはあるという時代になり、使わせないではなく、いかに安心・安全に使うかがやはり大切なのだと思いました。	女性	40 歳代	小学生
	家庭だけでなく学校とも協力して子どもの様子を見ていくことが大事と感じることができました。	女性	40 歳代	高校生
	・スマホの登場によって、「ケータイ」はこれからの子どもたちにとって「自分の道具」として使いこなす必要があるものにかわると思う、ということがわかりました。・子どもに使い方を云々(うんぬん)する前に大人社会がネットを取り巻く環境をきちんと整えていくべきだと思う。	女性	40 歳代	高校生
高校生の子どもに対しては、知識が私よりあるため子どもまかせになっています。中学生の子どもに対しては、携帯使用のためサイトにつながらないという約束をし、メールと電話のみの利用という制限で安心している段階です。今後はスマホについて知識を深めたいと考えさせられました。ありがとうございます。	女性	40 歳代	高校生	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
仙台市	途中から参加し、初めて知ったことが多くもっともっと聴きたかったです。人任せにせず、自分自身も親としてインターネットのモラルを守るために何ができるのか考えていきたいと思いました。	女性	20 歳代	小学生
	娘が小6なので、中学入学をひかえて最近保護者間でもケータイ or スマホを持たせるべきか否か、持たせてどうい問題があるのか、メリットは何かなどの話題が多くなりました。今回のシンポジウムは PTA の役員向けですが、子どもを持つ親として是非聞きたいという人は沢山いたと思います。親として無知ではいられないと痛切に思いました。学校の先生方にも聞いて欲しかったです。こういう機会をありがとうございました。	女性	40 歳代	小学生
	研修開催、資料活用の要望			
	とても良い話でした。是非出前講座を呼びたいと思いました。	女性	40 歳代	小学生
	こういう機会がもっと欲しいですし、広く保護者の方にも知って頂きたいと思いました。	女性	40 歳代	小学生
	様々な最新の情報端末について、親も勉強する必要が大変大切だということがわかりました。できれば、市内の小中学校の親も対象としたスマホのくわしい勉強会があるとよいと思いました。	女性	30 歳代	中学生
	親はスマホを使っているので、子どもケータイからスマホに変えたがっている。使い方をよく知らないと怖いとは知っていたが、具体例もたくさん知ること被害を防ぐことができるので、仙台まもらいだーのように、学校等で先生や PTA 向けに具体的な事例←件数だけでなく(いじめ、出会いになる SNS の話等)を知る機会を作って欲しい(新しい情報をタイムリーに)。是非出前講座を利用したい。	女性	50 歳代	高校生
	子どもたちに直接、危険性を啓発してほしい。	女性	50 歳代	中学生
	保護者と教員がともに互いに学び進んでいく、とても良いことだと思います。でも、その「共に」に是非子どもを加えてください。私事になるかもしれませんが、学校ではかなりしっかりした情報教育を行っています。利便性、危険性など様々なことを教えています。それらは子どもたちも知らないことがかなり入れてあります。ただ知らないのは大人も同じ。教員も保護者も子どもたちと同じレベルか、子どもたち以下です。ならば共に学ぶのはよくないですか？ 学校の授業や全校、学年での研修会と一緒に参加すれば、学ぶ機会は増えるはず(自分がやった限りでは子どもたちより大人の驚きの方が多いです)。是非、そういうことのできる集まりを全市、全国で整えていけたらと思います。	男性	40 歳代	-
	子どもたちに直接、危険性を啓発してほしい。	女性	50 歳代	中学生
	国、教育委員会、学校、企業への意見・要望			
	仙台市でネット巡視行っていることを初めて知った。親が関知しにくいところをチェックする機関は有り難い。	女性	40 歳代	高校生
	インターネット巡視事業というものがあるのを初めて知りました。それぞれの地域でトラブルを未然に防ぐ対策が既にあるのはありがたいことだと思う。使う側の考える力をしっかりと育てたい。	女性	40 歳代	中学生

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢	
仙台市	中学生の我が子に携帯やスマホを持たせる予定はないが、パソコン等で様々な正しい知識や情報を得ることを重要と思っています。今後、次々と新しくなる機器の正しい使い方をよく理解しなければならぬと思いました。私にとってはハードルの高い難しい問題と感じます。企業にももっと分かりやすい機能や危険性等のリーフレットや説明を求めたいです。	女性	40歳代	中学生	
	シンポジウムの内容・運営への意見・要望				
	早口なので聞き取りにくいところあり。	女性	40歳代	高校生	
	コーディネーターの方の話が分かりにくかった。言いたいことがつかみにくかったので、残念でした。	女性	50歳代	高校生	
	午前中がいいです。	女性	40歳代	高校生	
	せっかくの大きな会場での講習なので、各校1、2名の参加を増やしても良かったのでは？コーディネーターの方が言うように、学校(先生)から1、2名、保護者から2、3名でも良いと思いました。	女性	40歳代	中学生	
	コーディネーターの方がしゃべり過ぎ、目立ち過ぎ。もっとパネリストの皆さんの話をじっくり聞きたかったです。現在、携帯でとれる対策はとっていますが、具体的にスマホを使用するに当たって何をすべきか漠然とした話だけで、具体的な情報はありませんでした。結局は自分がよく考えるということに尽きると思います。今日来て新しく学んだことは余りなかったように思います。そもそも今日は気付いている方が集まっている会だと思うのですが。	女性	40歳代	高校生	
	フィルタリングですが、中高生まとめて扱われるのですが、中1と高3では発達段階に開きがあるので、中学生向け高校生向けと分けてほしいと思っています。(以前から)	女性	40歳代	中学生	
	コーディネーターが自分の意見を言い過ぎ、しゃべり過ぎ、なぜずっと立っていたのか不思議でした。パネルディスカッションに集中できなかった。残念！！	女性	40歳代	小学生	
	講演時間が短いため駆け足になっている感じがしたが、資料のポイントを絞ってということだったので分かりやすかった。e-ネットキャラバンについては年度初めに知っていたら行事に組み込むことができ、親子で聞ききっかけになったかと思うと残念だった。パネルディスカッションは必要だったのか。講演時間にその時間をまわせたのでは？Q&Aの時間に使うとか。	女性	30歳代	小学生	
	児童は3時に下校するのに、どうして午後の時間帯にするのでしょうか。イズミティまで車で1時間以上かかる地域もあるのです。	女性	40歳代	小学生	
	具体的なトラブルの例、対処法を知りたかった。その上でどのような対策があるか、具体的な予防策を学びたい。	女性	40歳代	高校生	
	当たり前のように使われている単語の意味が実はよく理解していないので、皆さまはよく理解できているのだろうと感心します。	女性	50歳代	小学生	
パネルディスカッションでもう少しパネラーの方々の話が聞きたかった。コーディネーターの方の主観論が多すぎて、論じる時間が短く先生方の考えをもう少ししっかり伺えれば良かったな、と思いました。	女性	40歳代	中学生		

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢	
仙台市	開催の時間設定には疑問を感じます。13:30～16:00 子どもの(特に小学生ですが)帰宅時間です。会場が近隣というわけではありませんので、特に感じることもありませんが…。子どもが学校にいる時間での開催を望みます。子どものためと思ってPTA活動していますが、子どもが犠牲になっています。(PTA参加の講演等、こういう時間設定が多いので書かせて頂きました。)	女性	40歳代	小学生	
	シンポジウムは午前中にやるべきだ。子どもの帰宅時間が過ぎていて困っている。そもそも子どもに安易にケータイ、スマホを与える親が間違っている。	女性	40歳代	中学生	
	子どもの帰る時間までに帰れるようにお願いします。	女性	30歳代	小学生	
	最後のパネルディスカッションが残念でした。せっかく素晴らしいパネラーの方々なのに、「ケータイモラル」の話からずれていたと思います。コーディネーターの方、しゃべりすぎです。藤川先生の話、よかったです。	女性	40歳代	中学生	
	暖房が強かったです。	女性	40歳代	小学生	
	携帯電話・スマホの使用に対する考え方				
	様々に進歩する携帯、スマホ、ゲーム機、音楽プレーヤー等についていけない。機能、内容が全てわからないため、話合いやルール作りも円滑に行えない。親が想像する以上のことがおこってしまう。(家庭内でも以前ちよっとした書き込みが問題になった。それ以後は使わせていない。)	女性	40歳代	高校生	
	スマホを使用している親がスマホを理解できていません。子どもに持たせるのは怖いです。	女性	30歳代	小学生	
	その他				
ルールについて→高校生は本人に任せている。(中学生までは制限していました)	女性	40歳代	高校生		
石川県	シンポジウムの有用性、行動意欲				
	ルールの大切さ、つながりを切らせない親子コミュニケーションとして素晴らしいものだった。ジェネレーションギャップを受入れ、マナーやモラルを教える方法としてとても可能性を感じました。	男性	40歳代	中学生	
	スマホはもちろん、急速な情報機器の発達に親の私がついていけず、子どもがトラブルに巻き込まれないか本当に不安です。先日、ゲーム機でも通信等していることについて大人たちが分かっていることも知りました。(学校の先生方です)ケータイも含め、知らない人とつながることのすばらしいこと、楽しいけれど危険がつきまとうこと、情報機器の使いこなせるモラルの向上が必要と痛感しています。	女性	40歳代	小学生	
	初めて聴く話が多くて参考になりました。親子で話し合いながら進めていこうと思います。どうもありがとうございました。※アナログ時代ののんびりっていうことも大切だと思います。	女性	40歳代	小学生	
	もっとたくさんの方に聴いてもらえる場を設けてもらいたい。とても良い内容だった。	女性	30歳代	小学生	
	大変勉強になりました。一議員の為に作られた石川県の条例、それにしぼられる県民は哀れに思えてならない。	男性	50歳代	-	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢	
石川県	スマホやケータイを子どもに持たせる時期を考えます。	男性	40歳代	小学生	
	とても参考になりました。	女性	40歳代	小学生	
	何よりも自分自身が学ばねばと思った。一か月先もわからないような世界に不安がつのりました。	男性	50歳代	高校生	
	当たり前のが出来なくなっていることをまずやっつけていこうと思った。情報があふれている中、ゆっくり始めることを考えていきたい。	男性	40歳代	小学生	
	技術の進歩が早過ぎ。大人(保護者)がわからないことが多い(LINE等)。難しい社会になっていることを痛感した。	男性	50歳代	高校生	
	今日は有益な、しかもわかりやすい勉強会を行っていただきありがとうございました。世の中の技術進歩は想像以上に早く、ついていけるのはかなり大変ですが、少なくとも我が子にはいろいろと話し合いができる程度には勉強を続けていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ致します。本日は関係者の皆様ありがとうございました。	男性	50歳代	中学生	
	これまでは危険だから持たせない、使わせないという風だったが、子どもたちを取り巻く状況は自分が知っていることよりもはるかに超えていました。自分で判断する力や、コミュニケーションをとる大切さなど教えていただき勉強になりました。ありがとうございました。	女性	50歳代	-	
	日頃から子どもたちと話し合いやルール作りをしていくことが改めて重要であると感じた。	男性	30歳代	小学生	
	自身が持っているスマホも使いこなせてなく、今後子どもが持つようになったとき、何が危険なのかもわかっていませんでした。親として義務・責務、親子のルール、今日のシンポジウム参加は私にとって大変勉強になり、この情報は広く保護者に(特に小・中)に知ってほしい内容でした。危険性については是非小学生にも知ってほしい情報です。ありがとうございました。	女性	40歳代	小学生	
	研修開催、資料活用の要望				
	学校の授業で、また保護者への講習会等で今日の内容を知ってもらいたい。将来にわたり継続的に！	男性	40歳代	小学生	
	全保護者に聞いてもらいたい。	男性	40歳代	小学生	
	尾花先生の資料を利用したい。	男性	40歳代	高校生	
	シンポジウムの内容・運営への意見・要望				
	良い取組とは思いますが、会場様子で聞きとかなり学校の職員が多く、今回の開催通知の期日期間からすると本来参加すべき保護者の参加が難しく、共闘の参加が多いように思えた。もう少し早めに開催通知すべきだ。	男性	50歳代	中学生	
	尾花紀子さんの持ち時間設定が短すぎてとても残念だった。パネルディスカッションでは会場の人数が約半数になったことから、講演に大きな期待があったことがわかる。	男性	50歳代	-	
周囲にはまだまだフィーチャーフォン使用も沢山おり、スマホのみの情報ばかりで今いちピンとこなかった。両方に共通する様な話等や講演やネット関係についての内容が理解でき、啓発活動もしやすい。	男性	50歳代	高校生		
もっと時間があれば、更に良かったと思います。	男性	40歳代	小学生		

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
石川県	携帯電話・スマホの使用に対する考え方			
	持たせない条例。最終判断は親です、というのは結局どっちなのでしょう。何のための条例？←しかも知りませんでした。	女性	30 歳代	小学生
	ガラパゴスな条例という話がありましたが、私は小中学生に携帯は不要と思います。その時期は地域／家庭のつながり、リアルなコミュニケーションを大切にしたいと思います。	女性	40 歳代	高校生
	その他			
	各 PTA・教員が子どもたち、保護者とワークショップできるといいですが、どうやったらいいかヒントが欲しいです。	男性	40 歳代	中学生
	(Q7 の有用性について) 偏った考えのように感じます。(Q12) ケータイは所詮道具です。人にとって危険な道具は世の中にたくさんあります。道具を適切に正しく使える人に育てることに意識するのみです。	男性	40 歳代	高校生
	地域や単位 PTA を対象にアドバイザー養成をして、もっと身近に気軽に子どもや保護者がスマホを与えるとき、トラブルにあったとき相談できる環境を作ってはどうか。	女性	40 歳代	中学生
札幌市	シンポジウムの有用性、行動意欲			
	デジタル社会について行けていない自分自身に反省。2 年前から私もスマホを使用していますが、使いこなせていません。危険性について情報を集める努力が必要不可欠ですね。今回、いろいろな情報をお聞き出来て良かったと思います。ありがとうございました。尾花先生の公式サイトで今後、勉強したいと思います。	女性	40 歳代	中学生
	インターネット環境やフィルタリングに対する考えは保護者、子どもたちにも差があると思います。いろいろな場面で少しずつ知識を得ることでモラルも身につけていくのではないかと思います。子どもの方が吸収しやすいと思います。是非学校でも取り組んでほしいと思います。	女性	40 歳代	中学生
	特に「18 の約束」の話が印象的でした。想像以上のリスクがあることを知り、早速子どもと話し合ひしなければ...と思いました。	女性	40 歳代	中学生
	親が苦手意識を持たずに最新機器のことを勉強(対応)する必要があると感じました。本日の講演で初めて聴く言語があり、とても勉強になりました。ネットだけではなく、子どもを様々な危険から守るには家庭から、親がしっかり責任を持つことが一番ではないかと改めて思いました。	女性	40 歳代	高校生
	スマホもまだ購入しておりませんが、いざというときにツイッターなども使えるように努力したいと思いました。またスマホの危機管理について沢山学びたいと思います。本日は素晴らしい講演をありがとうございました。(テレビは沢山見る方が多いと思うので、コマーシャルなどでこういう大切なことを知らせたら、特別番組など見ない人も見るのではないのでしょうか。	女性	30 歳代	小学生
	中 3 の子にスマホを購入しようと思っていたときで、とても参考になりました。何も分からず買ってしまつて良かったです。知らないままでなくてよかったです。「貸出しスマホ」をして自分も使い方を学ぼうと思いました。ありがとうございました。	女性	40 歳代	中学生

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
札幌市	ちょうど高校入学を控えてスマホ購入を...と思っていたので、ものすごく助かりました！ まず親が慣れないといけないと感じました。(危険性については子どもたちに直に(じかに)聞かせたかったです。) 本日は本当にありがとうございました。	女性	40 歳代	中学生
	18 条のわかりやすい訳はとても参考になります。原文をそのまま訳したものを読みましたが、「えっ？」というものもあり戸惑いました。今日から、母親の携帯にきた電話、子どもたちにとらせることから始めます。	女性	40 歳代	中学生
	とても参考になりました。ありがとうございました。	女性	50 歳代	高校生
	これだけ世間でも話題になっているのにも関わらず、まだ多くの保護者が危険性についての認識が甘いと思われます。もっと多くの方に知って欲しいと思います。	男性	40 歳代	高校生
	いろいろな知らない情報がいっぱいあり、勉強になりました。	女性	50 歳代	高校生
	日々進歩するデジタル社会ではありますが、便利さと隣り合わせの危険性を十分理解し、子どもにも正しく伝えていきたいと思いました。わからないからと放置せずに自分でも勉強していくことが大切だと思いました。	女性	40 歳代	小学生
	中学生の我が子にケータイをねだられていますが、我が家ではまだ持たせていません。今日の内容を参考にして、ルール作りをしてから持たせたいと思います。	女性	40 歳代	中学生
	子どもに直接話して欲しいなと思いました。その前に自分で話せるよう努力しますが...。参考になりました。	女性	30 歳代	小学生
	デジタルは苦手な世代です。大変勉強になりましたし、今後ケータイモラル教育を PTA で話し合う機会を持ちたいと思います。	女性	50 歳代	小学生
	講演の内容はすごい参考になった。他は余り参考にならなかった。というより、余り身近に感じない内容だったので興味がなかった。ただフィルタリングに関しては現状がわかりました。	女性	40 歳代	高校生
	講師の方もお母さんなので母親目線でわかりやすかったです。パネルディスカッションは内容が高度すぎてついていけないのが本音です。まだ子どもに持たせていませんが、私自身も最近のブログ、ツイッターなど全くとくで、よく勉強しなければいけないなと思いました。とても大切な研究会テーマと思います。参考になりました。	女性	40 歳代	小学生
	ケータイモラル教育(トラブルに巻き込まれない)の為に、親が子どもに伝えなくてはいけないことがあると考えさせられました。	女性	40 歳代	中学生
	とても勉強になりました。ありがとうございました。	女性	40 歳代	小学生
	(Q11 の選択肢 1 について) 一番大事なのはケータイ・スマホを与える親の考えかと思います。インターネットにボタンひとつでつながってしまう世の中に、少しついていけない自分に気がきました。自分自身も勉強しなければいけないことが多いですね。難しい専門的なことは分かりませんが、最低限のモラルを子どもたちに話していきたいと思います。	女性	40 歳代	中学生
	すごく参考になりました。ありがとうございました。	女性	20 歳代	小学生
とても分かりやすく(まだまだ勉強不足ですが)講演して頂き参考になりました。「持たなくていいや～」くらいに考えていましたが、これからスマホ世代を生きていく子どもにしっかり伝えなければと思いました。	女性	40 歳代	高校生	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
札幌市	研修開催、資料活用の要望			
	ネットセミナーは保護者にも行って欲しい。無料に近い代金でお願いしたい。	女性	30 歳代	中学生
	国、教育委員会、学校、企業への意見・要望			
	フィルタリング、アイフィルターの利用方法について各社ごとの取説等具体的に欲しい。メリット・デメリット等も一覧表があれば...	女性	40 歳代	中学生
	フィルタリングの複雑さが解決されていない。	女性	40 歳代	中学生
	シンポジウムの内容・運営への意見・要望			
	とても良い内容でした。平日の日中は参加できない人が多いので、日程も検討していただくと良いかと思います。	女性	40 歳代	高校生
	カメラのシャッター音が邪魔でした。そんなに写真が必要ですか？	女性	40 歳代	高校生
	尾花先生の話が一番必要だと思います。時間が短すぎます！	女性	40 歳代	高校生
	「ネットいじめ」に関する対応マニュアルは、保護者向けがあっても良いのではないかと？身近な大人として対応の仕方、発見を早くするためにも必要ではないだろうか。もっと具体的な事例や対処法を、事実を含めお話しいただくとよかったです。フィルタリングにしても、メリット・デメリットを具体的に広めてほしい。	女性	40 歳代	高校生
	トークセッションはパネリストのセッションかと思っていたが、ただの Q&A でしたね。	女性	30 歳代	中学生
	構成が様々な立場の講師からの話が聞けるもので、とても充実した内容になっていたと思います。広報の課題なのか、参加者が少ない点がとても残念に思えました。1 人でも多くの保護者が聞ける形、時間帯を考察していただきたいと考えます。ありがとうございました。	女性	40 歳代	高校生
	資料がバラバラ沢山ありすぎて、何が何やら分かりませんでした。	女性	40 歳代	小学生
	一般的な話だけで目新しいことが少なかった。何かやりましたという、ちょっと物足りない感がした。具体的な事例や本来こうすべきという建設的な意見、責任逃れに終わらない方策等を聞きたかった。	男性	50 歳代	中学生
	文科省と総務省の説明は早く聞き取れなかった。必要ならばもっと簡単にわかりやすく尾花さんの講演はとてもよかったです。せっかくの研修なのにもっとうまく PR して活用できるようにして欲しい(参加者呼びかけ)。この時期のセッティングは市 P から？国から？窓口になる各校事務所の先生が忙しいのにこの時期に？レジュメのないスライド、字が小さくて見えない。出前講座一覧、字が小さすぎる！！	女性	50 歳代	中学生
	文部科学省、総務省の方の話はわかりづらかったです。尾花先生の話は身近で、とてもわかりやすくてためになりました。ありがとうございました。役員の皆様お疲れさまでした。	女性	40 歳代	中学生
	席の二人の話が早口すぎたように思い、内容がよく分かりませんでした	女性	50 歳代	中学生
	低学年の子がいるため、時間的に最後まで聞けずに残念でした。	女性	40 歳代	中学生
	講演会が午前中の方が参加しやすかったです。早口で聞きにくかったです。	女性	40 歳代	小学生
(理解度の設問に関して)どのプリントの話をしているか分からなかった。	女性	40 歳代	小学生	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
札幌市	携帯電話・スマホの使用に対する考え方			
	携帯の所持に年齢制限があればいいのに...と時々思う。子ども用として通話・メール・GPSのみで多機能携帯よりも金額が相当安くなると購入者ももっと安全で安いイメージのものに流れていくのでは...と思う。利便性より安全性の携帯、又はポケベルの再普及があってもよいのでは?と思った(安全だったから)。最後の答弁がよくわからなかった。	女性	30歳代	高校生
	ゲーム機や音楽ポータブル機がインターネットにつながっていることを知らない親がたくさんいるように思います。親が知らないところで子どもはネット世界にふれている。その実態をもっと親は知ってほしいです。	女性	40歳代	高校生
	その他			
	フィルタリングは誤解されているなと思いました。万能ではありませんが、無力でもありませんので。	男性	30歳代	小学生
	保護者、使用する子ども、それぞれが新しい情報を学び”続ける”必要がありますが、どこから情報を得るとよいか参考図書、サイト等を紹介してほしい。	女性	40歳代	中学生
相談、勉強のできる身近な場所があればと思う(講演会だけでなく)。	女性	40歳代	中学生	
兵庫県	シンポジウムの有用性、行動意欲			
	とても参考になりました。ありがとうございました。	男性	50歳代	-
	フィルタリングが有害情報から「安全に」子どもを守ることができないと思っています。完全に守るには家庭のルールや教育力の充実が大切です。フィルタリングしていれば安心と思わないように指導していきたいと思います。	男性	20歳代	-
	ケータイを持たせるか迷っているときに話が聞けて、とても参考になりました。	女性	30歳代	小学生
	増尾会長の、「ここに来ていない人に」という話は大変共感しました。多くの人に危機感と責任感を持っていただくことに難しさを考えさせられました。	男性	30歳代	未就学児
	研修開催、資料活用の要望			
	中学校教員です。本日はありがとうございました。現場の教員でケータイモラルなどの啓発はなかなか難しいです。是非現場での講演をお願いしたいと思います。もちろん大人も勉強しなければいけないのですが、直接中学生に話して頂いて、危険なケースなどを伝えて頂きたいです。	男性	20歳代	-
今回の研修会開催は、情報発信の範囲が限られています。たまたま参加させていただきましたが保護者が一番遅れていると痛感致しました。親子共に情報提供の場を多く作っていただき、またより多くの人にこのような機会を与えていただけるよう希望いたします	女性	50歳代	中学生	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
兵庫県	国、教育委員会、学校、企業への意見・要望			
	色々とお話いただきましたが、始めの方の話でどの資料の何ページかということが分かりにくかったので、改善して頂けますと有り難いです。こういう話は低学年からしていくことが大切だと思いました。話は違ってきますが、教育委員会、関係各所でネット内のイジメのチェックをもっとするようにして欲しいと思いました。SNSなどにより生徒の名前などで検索できるのでチェック体制を作って欲しいと思います。(機関を作る等してほしいです)	女性	40歳代	中学生
	シンポジウムの内容・運営への意見・要望			
	インターネットの有害性や犯罪の実例など、もっと身近に感じられるような内容が多少あればよかった。	男性	40歳代	高校生
	・Face book、LINE等の説明、全く知らない方にはあれではわかりません。もっともっと簡単に。(わざわざ質問がでたのですから) ・「依存症」例えばアルコール依存症だったらアルコールがないとイライラしたり、不安になったりしますが、ネットではどうなのでしょう？最後に説明があったように、定義があいまいで人それぞれの受け止め方をされそうです。「〇時間以上は依存症」は違うと思います。	女性	40歳代	未就学児
	教員、保護者ともにアンテナを高くしておく必要があると感じます。メディアは、日進月歩で姿を変えているのだから、先手先手をうたないと意味がありません。今日の内容もふた昔前という感じで、後手に回っているとしか思えません。	男性	20歳代	-
	携帯電話・スマホの使用に対する考え方			
	子どもがiPhoneを無くしたと言ってきた子にお金を9万円求められました。中学生が大人にお金を請求してきたので困ってしまい、学校へ報告しました。貸した返したのトラブルもあります。	女性	30歳代	中学生
	金沢のように、小中学生にはスマホ禁止として欲しい。	男性	40歳代	中学生
	その他			
	保護者はICTに対する危険性に気付いていないので、知ろう、学ぼうという意識が少ないように思います。まずICTに対する苦手意識を取り除き、危険性を知らせて知ろう、学ぼうという意識をあげていかないといけないと思いました。それにはどうしていけばいいのでしょうか。	女性	30歳代	小学生
	新時代(ケータイ・スマホ時代)の家庭の役割(教えること)、学校の役割(教えること)、企業・社会の役割(すべきこと)をはっきりさせて欲しい(方向性)。	男性	50歳代	-
	今回のような講演会に参加されない保護者に対する教育をどうするのかについて、考えて頂きたいと思いました	女性	40歳代	中学生
	情報モラルと犯罪害や犯罪者となる危険性の両者の教育が必要。	男性	40歳代	高校生

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
北九州市	シンポジウムの有用性、行動意欲			
	子どもの方が詳しくなり、親の方が取り残されていくような不安を覚えます。特に子どもの祖父母たる世代は、スマホなどの有用性の裏に潜む危険性を認識していなくて、安易に貸したり、与えたりすることがあります。大人がまず知って、子どもとしっかり話し合えるよう地域全体として取り組んでいかなければと思いました。良いお話をありがとうございました。最後のお話で、「子ども自身の判断力」をスマホ等だけでなく生かしていくための本当の力をつけていかなくてはと思いました。小学校の授業参観でゲーム等の使い方などについてNPOの方が子どもと大人に対してしてくれました。そういう形での講座も有効だと思いました。	女性	40歳代	中学生
	多くの保護者の方々の熱気に包まれて、大変感激しました。北九州のPTA活動は素晴らしいと思います。参考になりました。ありがとうございました。	男性	50歳代	-
	自分がまだ持っていないので、知らないことが多いと思う。子どもに持たせる前に自分が理解していかないといけないと思いました	女性	40歳代	小学生
	桑崎先生の御講演がとても素晴らしくわかりやすかったです。多くのPTAに伝えていきたいと思います。	男性	40歳代	中学生
	子どもが自分で責任を持ってネットユーザーとなれるようにしなければいけないと思いました。	女性	40歳代	中学生
	親世代では知らないことが、現代の子どもたちには日常に使用しているという現実を目を向けることはとても大切と思った。そして親も子ども社会全体がネット社会のことを理解していくことが課題と思いました。フィルタリングの方法を分かりやすく全社会に広げてください。実際知らない人が多い。	女性	40歳代	中学生
	「君子危うきに近寄らず」で自分は良いと思っているが、PTA会長としての立場上、スマホを含むネット上の様々な情報は仕入れて関心を持っていかないといけないなと思いました。	男性	40歳代	高校生
	今日はみなさまお疲れさまでした。とても良い講演ありがとうございました。	女性	50歳代	高校生
	子どもと話をする、問題意識を持つ。変化を見逃さない、子どものことを良くみている。	女性	50歳代	高校生
中1の息子がいます。今までゲーム機を買っていませんでしたが、中学に入り、iPadが欲しいと言い出し、お年玉で買いました。本人もまだいろんなことが分かっていないのですが、早くから持っている友人からいろいろ聞くようで、最近SNSを始めました。次々にメール(チャットのように)入ってくるので、息子がしょっちゅう見ている心配になります。・本人には厳しく自分で判断し、駄目なことは絶対してはいけないと話し、本人も「わかっている」と言っていますが、これからも話していこうと思います。	女性	40歳代	中学生	
子どもにケータイを持たせないことが守ることだと思い、下の子には持たせないことにしていましたが、使い方やマナーがわからない子に育つ可能性があること知り、考え直す機会になりました。	女性	40歳代	中学生	
子どもにスマホを持たせる前に、ルールや危険性について話し合っておこうと思います。	女性	40歳代	小学生	

	意見・感想	性別	年代	子どもの学齢
北九州市	素晴らしいコーディネーターでした！ 大人の責任で子どもを守らなければいけない。東京まで行けないので、それこそネットで講演の様を(YouTube や USTREAM で流せば)	女性	40 歳代	中学生
	子どもたちへの社会モラル、携帯モラル教育で、安全に利用できる社会になって欲しいと思います。	男性	40 歳代	中学生
	研修開催、資料活用の要望			
	ケータイトラブルを防止するには保護者と子どものつながり、話し合い、意識の確認が必要なのですが、現在、社会的モラルを持たない親が多くなっているため、子どもを放(ほ)ったらかしにしている。トラブル防止の為に、子ども本人に訴えないと駄目だと思います。	男性	40 歳代	小学生
	親に教えるのではなく、子どもに教えるのは意見を聞いて賛同です。小さい頃からの経験が大切だと思います。	男性	40 歳代	中学生
	桑崎先生のスライド資料の配布がなかったのが非常に残念でたまりません。頂いた二枚組のプリントではとてもカバーしてくれていない。沢山の有益な情報がありましたが、とてもメモしきれませんでした。何とか手元に頂く方法はございませんでしょうか？	女性	40 歳代	小学生
	国、教育委員会、学校、企業への意見・要望			
	最後の質問者の意見に同意する所が多い。ケータイ「モラル」→「モラル」を PTA や国が作ってどうする気なののでしょうか？	男性	40 歳代	高校生
	携帯電話・スマホの使用に対する考え方			
	技術の進歩による子どもたちへの安全面のサポートが追いつかない気がします。	女性	40 歳代	中学生
	中学一年の娘の母親で、小学一年から子ども携帯を持たせています。料金のリミットプランなので、上限が来ると自分からは発信できなくなります。子どもは興味があれば何でもしたいものです(親がいくら勉強しても)。車の運転免許は 18 歳から、たばこ・酒は 20 歳から。多機能のスマホも 20 歳からにすればいいのでは。	女性	30 歳代	中学生